

第3回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会
もんぜんぷら座在り方検討部会 議事録

日時：平成29年12月25日（月）

午後1時30分～午後3時38分

場所：もんぜんぷら座3階 304会議室

出席委員：20名

岩野彰委員、金澤玲子委員、清水秀幸委員、西堀真二郎委員、柳瀬亮太委員、轟直希委員、湯本泉委員、横田悦二郎委員、青木武雄委員、青木茂委員、塚田篤雄委員、太田耕一委員、宮島文子委員、西澤清文委員、山浦直人委員、落合勤委員、西沢浩委員、大日方薫委員、山田雅之委員、乙部正長委員

欠席委員：2名

勝田貴子委員、川北泰伸委員

1 開会

2 部会長あいさつ

3 資料説明

(1) 市民アンケート結果まとめについて

<資料1>（説明者：事務局）

(2) 上位計画及び主な個別計画について

<資料2>（説明者：事務局）

(3) もんぜんぷら座耐震化手法の比較について

<資料3>（説明者：事務局）

※ 質疑なし

4 議事

発言者	発言内容
委員M	資料1について、もんぜんぷら座の利用用途で一番多いTOMATO食品館の客層は、MIDORIのマルシェの客層とは違うのか。年齢層などの傾向はあるか。
委員Q	平成21年度にもんぜんぷら座の利用調査を行った結果、50代以上の利用者が64.2%という結果になった。 現在は調査していないが高齢者が多いという実感はあり、中には買い物かごをサッカー台に移すことができないくらいのお年寄りも結構いる。
事務局	利用者調査とテナントヒアリングはまだ実施できていないが、設問を工夫して、色々なことが分かるようにしていきたいとは思っている。できるだけ1月中には実施して、次回の部会である程度まとまった傾向などが出せればと思っている。
委員S	資料3の耐震化手法について、構造耐震指標（Is値）が低層階は0.63で基準を満たしていて、高層階は0.527しかないなので満たしていない。では高層階だけを0.073分耐震化すれば、建物全体が基準を満たすという考え方でいいのか。
事務局	高層棟が0.6以上になるように補強するというのが耐震化の考え方である。
委員S	補強の際に、例えば西側の壁に補強材を入れたらどのくらい数値が上がるか、東側の壁に補強材を入れたらどうかといった計算はできているのか。

事務局	<p>耐震診断の業務では、調査よりも耐震補強設計に時間とお金と手間がかかり、なおかつ正当かどうかを公的な機関に認めてもらう必要があり、シミュレーションがもっと手軽にできればいいが、制度上そういった形をとることができない。</p> <p>市としてもある程度の案は持っているが、今はまだ細かい図面を示せる段階にないということで理解願いたい。</p>
委員S	<p>テナントとして入居していて、営業を継続するというのが直結した問題なので、一番営業に支障が出ない方法で進んでもらえればありがたい。</p> <p>たったIs値0.073の差で耐震補強しなければいけないという話が出てくるのであれば、その0.073というのは一体どれくらいのものなのかというのが知りたい。</p>
事務局	<p>今の段階では、全体を見た中で耐震補強をしたらこんなイメージ、建て替えて再整備したらこんなイメージだという概略を目安に、方向性をどうするか、妥当性はあるかというような議論をしてもらいたい。</p>
委員B	<p>資料にもあるように、基本的にコンパクトシティ&ネットワークというビジョンがある中で、特に新田町交差点を中心とした区域というのは都市機能誘導地域という位置付けにあるので、先ずはこの区域が市にとってどうあるべきかを議論して、一定の方向性を出してから各論に入っていく方が進めやすいのではないかと思う。</p> <p>アンケートも取り、このビルにテナントを構える方もいるが、この部会はもっと大きなところから、もんぜんぷら座を中心としてどういう流れにしていくかを考える初歩の段階の会議だと思っているので、都市機能として必要不可欠な区域にあるもんぜんぷら座は、起爆剤としてどうあるべきか、という議論を進めていった方が分かりやすいと思う。</p> <p>今回示された資料は、暗にこの建物がどういう場所に位置しているのかを示したものだと考えていて、その辺も含めて、それぞれの委員の考えを聴くのも一つの手段だと思うので議長に提案する。</p>
議長	<p>前回の部会でもその話をいただき、今日も上位計画などの資料が出てきたことで、提案のように、各委員の声を聴きたいと思う。</p>
委員C	<p>資料3の耐震化手法の比較を見ると、せっかく耐震補強しても耐用年数は20年。耐震面から見れば大丈夫でも、使い勝手とか、設備は大丈夫かということも踏まえて検討した上で、もう20年騙し騙し使うというのも一つだし、この際だから建て替えようというのも一つ。</p> <p>設備的な寿命もあるわけで、耐震補強で20年という選択をした場合でも、概算工事費の中に設備改修費が果たして収まるのか、それも含めて総合的に考えていきたいと思う。</p>
委員D	<p>子育てに当たって、2階も1階もよく利用している。資料1のアンケート結果はこれからクロス集計するということだが、利用頻度と交通手段と利用用途の関係性について、別々の表を見たものとはかなり違う印象になるだろうと予測が立つので、その辺も含めて広く検討していく必要があるだろうと思う。</p> <p>人口の推移について居住者を増やしていくという話があったが、関係性をどう結び付けていくかということになるかと思う。この場所は公共交通の利便性が非常に高く、期待も高い場所だと思うし、アンケート問10の結果を見て、買物や物流の拠点と</p>

	<p>してもふさわしい場所かと思う。</p> <p>これに加えて子供の教育拠点みたいなものも是非検討してもらえればと思う。</p>
委員E	<p>将来の新田町について、中央通りの整備とか、セントラルスクウェアをどうするかという話がある中で、アンケート問19の結果を見ると、都市緑地として整備してほしいという回答も多いので、ここだけではなくて、周りの環境等も含めてしっかり考えていかなければならないと思った。</p> <p>今回のアンケートが若い方に関心が高かったというのがポイントで、今回仮に耐震補強したところで、20年後また何かしら手当をしなければいけないので、若い方の意見と、利用されている方の意見も非常に重要だと思っている。</p> <p>残念というか、あれ？と思ったのは、問8の利用の有無と問9の利用頻度の部分で長野市民37万人のうち利用したことがある方が67%いて、概算で170万人くらいは利用しているという計算になるが、実際利用しているのは60万人程度だった。アンケートは目安として、真にどのくらいの人かのように思っているのかというところを、丁寧に分析していく必要がある</p>
委員M	<p>前回の部会で交通の結節点という話が出たと思うが、資料1のアンケート自由記載で、70代の方が新田町交差点を長野駅前・セントラルスクウェア・権堂・県立大学・善光寺の結節点とすべく長期的視点に立った整備をしてもらいたいと答えていて、私も同じような考えにある。</p> <p>バスタ新宿と同じようなものがあればいいと思っていたが、同時にもんぜんぷら座の規模では無理だとも思っていて、改めて資料を見ると、資料2の④長野市中心市街地活性化プランの4ページに「まちなかで人を滞留させ、憩いと潤いを提供する空間が著しく不足している」とあり、アンケートの問19でも都市緑地と回答している人がいたが、もんぜんぷら座を解体して公園にした場合は、活性化プランの地図には緑色のマークが増え、緊急避難場所としても使える。とは言え雨の日の子供の遊び場が無いという意見もあるので、緑地の中に二階建て程度の建物を建てて遊び場を確保したり、今もんぜんぷら座で営業している店舗が入ったり、多機能型の公共施設が出来ればいいと思っている。</p> <p>市では今後20年間で公共施設を20%削減するという数値目標を出している。もんぜんぷら座も公共施設である以上は当然に対象となり、どの程度公共施設としての機能を縮小していくのかということも大きなテーマになっていくと思う。</p>
委員N	<p>市からもんぜんぷら座の位置付けについて多少の説明はあったが、ただ単に耐震補強のやり方だけで考えるなら、建築の専門家だけで話し合ってもらえばいいと思うので、基本的に市として施設の役割をどうしていくのかというのが前提にあるべきだと思う。</p> <p>今日の資料で市としての位置付けがあるということは改めて認識したが、この部分はもう一度整理してもらいたいと思う。そうしないと、市としてこういう位置付けだからもんぜんぷら座は要らないとなる可能性もある。機能としてどこが足りないのか、どこが削れるのかと仕向けていけないといけない。その結果として耐震化のやり方にも優劣がついてくると思う。</p> <p>アンケートはグラフよりも自由記載に注目していて、利用の形について様々な意見</p>

	<p>があり、結構使われている施設であると考えられるので、そういうところを評価して将来の方向を見ていった方がいいと思う。</p>
委員O	<p>資料1のアンケート結果で、特に自由記載の部分は実に様々な意見や提案があって、これの最大公約数を取るのは非常に難しいと思った。ショックだったのは問16の公共施設は今の場所に必要かというところで、不要が46%と半数近くを占めていて驚いた。</p> <p>資料3の耐震化手法の比較に関して言えば、解体再整備すると78億という数字が出ているし、ランニングコストも出ているが、市民のニーズがこれだけ多様化している中で、果たしてこの数字は支持されるのかと思った。</p> <p>基本的にはコンパクトシティがいいのではないかと考えていて、上位計画を見ても考え方はコンパクトシティと方向付けされていると思う。中心市街地に商業の力だけで賑わいを取り戻すのは難しいと実感する中で、どうやって中心市街地を考えていくのがいいのかといった時に、医療・福祉・公共交通というキーワードを考えている。先ず福祉は言うまでもなく、これだけ高齢化が進む中で、おそらく中心市街地にも多くの高齢者がいる。それから地形的にみると、ここは交通の結節点と言わざるを得ない場所なので、後は公共交通をうまく集約できないかと考えている。そして医療施設の充実というのも必要不可欠だと思う。理想を言えば医療・福祉・公共交通等の生活機能を充実させて、便利で住みやすいまちができないかと考えている。</p>
委員P	<p>この場所が非常に重要な場所であるということは認識していて、資料1の市民アンケートにあるように、官民協働で素晴らしい施設にすべきと思っている。具体的には長野駅から善光寺までの道が通っているので、観光客も来られるような施設がいいと思う。ただ、TOiGOには空き店舗が結構あって店舗が撤退しているという現状があるので、事前にそういう状況を加味しつつ、魅力的な施設にすべきだと考える。</p> <p>テナントとして話をさせてもらおうと、資料3の耐震化手法の比較で補強と長寿命化それぞれパターンが二つあり、デメリットとして利用休止や工事中に避けられない騒音というのがあるが、私のテナントにとっては非常に厳しいと思う。</p>
委員F	<p>広い目線で長野市や中心市街地をどうしたらいいかということを考えていく必要がある。長野市はどうしても善光寺頼りになってしまうが、善光寺を抜いてこの地域がどういう地域だったらいいかという考え方もあり、そこに加えて善光寺も使わせてもらうという発想もいいのではないかと思う。</p> <p>今までの歴史で見ると、長野市は後ろ側に断層が走っているので、まちを構成していく時も千曲川の方に流れて行ってしまおう。上田とか松本とかは山に囲まれていたり、段差があったりして横に逃げられないようなまちづくりをしているが、長野は流れてしまう。大きなイオンモールのようなものを建てるだけでなく、無くてもきちんと繁栄できるような、きちんと生活できるような地域を作っていく必要があるのではないかと考えている。</p> <p>権堂地区再生計画にも参加しているが、大きな土地を確保するのは非常に大変で、そういう計画にも先ず地権者の理解をもらわなければならないのが難しい。今退けと言われても無理な話で、10年後はどうしたい、というところから入っていかなければ都市計画はできないのではないかと考えている。</p>

	<p>第三地区には11の区があるが、子供が平均15人。それでも、お祭りの時にスタンプラリーをやったところ3,000人くらい動員できた。そういう形でとにかく人をまちなかに引っ張り出し、次には来たくくなるようなまちにすることが大事なので、そのような仕組みができればと思っている。</p>
委員G	<p>第四地区の代表として今言えるのは、第四地区は市内32地区で最も人口が少ないということ。先ほど公共施設を減らすという話があったが、もんぜんぷら座しかないので、20%減らすとゼロになってしまう。たった一つしかないこの施設を無くてもいいというのはちょっと乱暴ではないかと思う。</p> <p>次の世代には絶対に負の遺産を残してはいけない。耐震補強もいいとは思いますが、20年後には確実に壊すか何かしなくてはならないということは忘れてはいけない。西後町には鉄筋4階建ての公民館があるが、エレベーターが無く、老人が4階まで上がれないので使えていない。</p> <p>資料1のアンケート結果を見ると、駐車場が欲しいという意見が多数あるが、80年後には車というものは無くなって、もっと違う公共交通設備があると思う。バスというものもおそらく無いだろう。それが予想できない時点では、施設の位置付けだけを考えて、活用方法はその都度考えるということも必要で、広角的に使えるようなものにしていかなければならないと思っている。</p> <p>アンケートの中で公共施設が不要だと回答した人が多かった点について、アンケートの中の中心市街地位置図に、他の公共施設も沢山記載したことが影響しているのではないかと思う。自由記載欄を見ても殆どそんな言葉は書いていなくて、資料2にまとめてあったもんぜんぷら座の在り方に近い意見が来ていると感じた。20年先、50年先に負の遺産を残さないような議論を是非してもらいたいと思う。</p>
委員H	<p>課題は二つあると思う。今のもんぜんぷら座をどのようにして建て替えて人を集めるかということと、中央通り全体を長野駅から善光寺まで考えて賑わいを取り戻すかということ。</p> <p>資料1のアンケート結果を見ると、建て替えるか改修するかして建物を維持していく意見よりも、若い世代に子供たちの遊び場や公園という意見が多数ある。お年寄りに見ると現状のまま通えるようにという話になるが、お年寄りの意見ばかり聴くと、あと何十年かでもんぜんぷら座は価値のないものになると思う。</p> <p>長い目で見て、もんぜんぷら座をどのような在り方で進めていけばいいかというより、長野駅前から善光寺までをどのようにしたらいいかという話し合いの方が、議論が出るのではないかと思う。</p>
委員I	<p>この新田町の交差点で生まれ育って盛衰を見ている。子供の頃は賑やかだったが、ダイエーが無くなってまちがすごく寂れていっている。子供がいないので、子供会の運営にも困っている、お年寄りの会も人が足りない。</p> <p>とにかく何とかまちを賑わせてもらいたい。すぐにでも建物を潰して新しいものを建てて、まちを活性化する起爆剤にしたい。</p> <p>いいまちにするには、やはりここを早く建て替えて、皆さんが集まってきて、新田町に住みたいという人にも来てもらいたい。人が住めるまち、住んでくれるまち、そういう風にしてもらいたい。</p>

委員J	<p>中心市街地は商業として一番大事な所だし、市としても税収が上がる所ではないかと思う。ただ商店が潤うには、遠くから買いに来てもらうことは当然、人に住んでもらって、地元で常に買い物をしてくれる、そういうまちにしていかないと、中心市街地の活性化は難しいと思う。</p> <p>税金が取れる所をしっかりと整備してもらわないといけないし、やはりその地域に住んでもらうことが一番いいと思うし、更に色々な店もできてくると思う。店ができたから人が来るのではなくて、人が住んで店ができるというのが理想だと思うので、人が住みたくなるような何かをしてもらえればと思う。</p>
委員K	<p>私もこの新田町の住民で、商店街としては、このもんぜんぶら座は商業施設としてとてもいいものだと思っているが、商売だけではなくて、地元の方々や観光客、更に郊外の人でも何かしら寄れる場所であるべきだとも思っている。善光寺・長野駅・県庁・市役所との位置関係を考えた時に、公的届出だとか許可・手続きの関係、診療所のような生活に親しんだ施設、そういうものを取り混ぜながら、地元の人が利用できて、かつ観光客も立ち寄れるということが一番考えるべきだと思っている。</p> <p>もんぜんぶら座だけではなくて、TOiGOとの関連性も含めて、新田町交差点を今後どうしていくかということ幅広く考えていけたらいいと思っている。</p>
委員L	<p>勤労者女性会館しなのきを主に利用している私どものグループ約50名の中で、もんぜんぶら座を使っているのは3名だけだった。</p> <p>そんな状態で何も分からないが、部会員の責任もあるので、この前個人的にもんぜんぶら座に来てみた。建物の中が広くて理想的だが、利用者は少なかった。資料1のアンケート結果を見て、善光寺や長野駅と調和の取れた、もんぜんぶら座にぜひ寄ってみよう、楽しんでもみようと思える目玉のような施設を希望しているが、観光客もバスで来て直ぐに帰ってしまい、まちなかを歩いている人がとても少ない、TOiGOも閑散としているし、ここだけを良くするのは難しいと思うが、調和の取れた計画を立てていかなければいけないと思う。</p>
委員Q	<p>様々な計画が今まちなかで進んでいる状況なので、それらが実現するかしらないかという部分があると思うが、資料1のアンケートにある沢山の要望をこの施設一つで叶えるのではなく、まちなかの複数個所で叶えば結果的にそれでいいのではと思う。</p> <p>平成32年度末までという期限はあるが、急いで結論を出すのではなく、負の遺産になることがないように、色々と考えてみてもいいのではないかと思う。</p>
委員R	<p>資料3の耐震化手法の比較で、耐震補強をするにせよ建て替えるにせよ、年8千万円から1億2千万円のコストが最低でもかかるという数字を目の当たりにすると、是非は別としても、先ずは長野市の人的資本、金銭的資本を県外資本に全部持って行かれるのではなく、長野の人たちの力で利益を担保していくような組織を作っていくべきだと思った。衣食住がこの地区で完結するようなシステムを作って、そのヘッドクォーター、あるいは核となるような施設がもんぜんぶら座であるように整理して、再構築すべきではないかと感じた。</p> <p>青年会議所活動でまちづくりに関わっているが、市民をもう一度中心市街地に呼び戻そうとしてきた中で唯一成功したのは、会議所がびんずる祭りの裏方に回り、民間主体の開催に変えたこと。まちづくりというのは、新たに何か作っていこうという話</p>

	<p>ではなく、そこに住む人たちのコミュニケーションをどうしていくかという事に尽きると考えるので、この場所がまちづくりに関してのコミュニケーション・情報発信の基地になればいいと思っている。</p> <p>駅ビルMIDORIを見に行くと、とにかく人が多く、沢山の物を買っている。それは、長野の物は大体買えるし、利便性も高いから買うのであって、この建物も同じように長野県・長野市の名物を買うことができ、情報も得られる物産館的な役割にすればどうか。加えて、国策でもある子育て支援、更には介護の部分も併せた施設ができればいいと思う。</p> <p>ここは観光客が多いので、その人たちに来てもらうための情報基地を作るのもいいと考えている。今も国際交流コーナーがあるが、それをもっと拡充させたものなどがいいと思う。</p>
委員S	<p>大多数は建物を壊して新しいものを造り、再開発するという意見を感じる。確かに新しいものを造ればそれ相応に色々なものができると思う。しかし、資料3の耐震化手法の比較にあるように、新しく建てるとすると約70億円以上、100億円かかるかもしれない。100億円かけて新しくするとなった場合も、市で予算付けがあるか無いかという話も出てくると思う。</p> <p>私も1階で商店をやっている。もんぜんぶら座を壊して新しく建てるとしたら、工事中は仮店舗などで運営することになるかもしれない。その後で戻ってこられるかこられないかは重要な問題になってくる。</p> <p>そういうことも踏まえて、なるべくお金がかからない方法で集客できるような仕組みを考えていくのも一つの手ではないかと思うし、耐震補強も一つの手だと思う。</p>
委員A	<p>資料1の市民アンケートは人口割か何かで発送したのか。第四地区の方は公共施設が無いと言っているが、返送された453件のうち、第四地区からの返送は5件だけとなっている。更に第一から第五地区の合計でも53件と篠ノ井の一地区分でしかないので、頻繁に利用している方の実態と、このアンケートの結果は少し違いが出てきても仕方ないと思って見てもらって、この後のテナントヒアリングと利用者意向調査の結果も含めて考えてもらえればと思う。市としてはアンケートを取らなければいけないということで取っているとは思いますが、利用頻度などを見ると少し乖離が出てくるということはないか。</p>
委員G	<p>第四地区は人口が少ないから、このような結果になってしまった。</p>
委員A	<p>人口割で配付しているので中心市街地の回答数が少なくなってしまったのかもしれない。そういうことを踏まえてこのアンケートを見るのがいいと思った。</p> <p>二つ目は、この場所が市にとって重要でいい場所だということは間違いのないと思うが、資料3の耐震化手法の比較を見る限りでは、建物を新たに造るとしても、地下利用は考えていないということか。</p>
事務局	<p>あくまで仮積算であり、地下を設けないということではなく、今回の積算には含まれていない。</p>
委員A	<p>仮定の話であるということに理解した。</p> <p>三つめは敷地だが、借地を市有地として購入する可能性は無いのか。そのように考えてはもらえないのか。</p>

事務局	<p>土地はまだ契約中の話でもある。どう契約を交わすかなどということ抜きにして、現時点ではあくまで耐震補強をするのか再整備をするのかということだけで考えてもらえればと思う。</p>
委員A	<p>もんぜんぷら座は、ダイエーが撤退した跡地を、是非このいい場所を市で使いたいということで取得したという経緯がある。あくまでダイエーの店舗として造られたということで、目的が先にあったわけではなく、長野市を良くしていくために取得したということであったと思う。</p> <p>その後、この場所に不足している施設としてTOMATO食品館が先行オープンして、徐々に色々な施設が入っていき、最後にNTTソルコ（現：NTT東日本サービス）が入ったという経緯であったと思う。何かをするためにというよりも、長野市の中心に無かったものを徐々に増やしていったということを考えると、レンタル比が少ない、小さい建物というのはとても贅沢であって、そういうところが出ている。</p> <p>せっかくこれからを考えるのであれば、とりあえずの用途を決めてある程度は利用するけれど、10年20年先には必要なくなるだろうと想定される施設があれば、そういうものをフレキシブルに変えていけるような建物になっていけばいいと思っている。そのためには、どうしたいかという思いよりも、これからの世の中はどうなっていくのかということに対応した考え方や施設を作ってもらえればと思っている。</p>
委員B	<p>人が住んでくれるまちをどう創っていくか、人が来るだけではなく実際に住んでもらう。この辺は市の考える都市機能として、定住人口を増やすという意味で合致してくる。色々な施設の役割を論じていかなければならない中で認識しておかなければならないのは、市の人口は全国の都市と同様に減少していくということと、超高齢化が進んでいるという事実。人口が減少した超高齢化社会のまちづくりとはどうあるべきかを考えた時に、都市機能をエリアの中に封じ込めて、その中で歩いて暮らせるまちを作っていこうということが、定住人口を増やすところにリンクしていくはず。</p> <p>では歩いて暮らせるまちとはどういうものだとすると、直ぐ近くに官公庁があり、医療・福祉・学校・共同住宅、暮らしていくための商業施設、こういう施設を一定の地域に収納したワンストップ型のまちだとして考えると、新田町という場所は軸線上極めて有効な場所にあると思う。人口は減ってもインバウンドを含めた観光客というのは、長野駅から善光寺までの表参道については、新田町も含めてそんなに減ることはないだろうと思う。そう考えた場合、定住人口も増やさなくてはいけない、都市機能誘導地域の品格も持たなくてはいけない、そして新田町交差点全体の存在意義が将来どうなるかを考えるときに、将来像がどうで、役割というのがこうであると言えるのは行政しかないと思う。</p> <p>もんぜんぷら座をいかにリノベーションするかという点で、やはりワンストップ型の集合施設にするのが一番いいだろう。従来どおり低層階は生鮮食品売り場等の商業施設として、容積率が500%～600%という高い建物が建てられる場所であるだけに、集合住宅を上を兼ね備える。</p> <p>実はこれは行政が直営ではできない。そうした場合に今日の資料3の全体条件整理の5に「PFIなどの民間ノウハウ導入は今回の検討には含めないものとする」という注釈があるが、ここは民間活力を導入していく上で一番いい場所で、行政が直営で</p>

	<p>主導しなくても、行政の要求する事項をすべて網羅するという条件でやったとしても民間の企業は十分食いついてくる場所である。</p> <p>やはり民間活力を導入してでも、基本的なアイデンティティを高める場所であると私は認識している。今は行政の方で検討部会というものを主導しているが、もっと深くこの場所の意味はどうあるべきだということを考えていながら、一つの方向性を出していかなければならない。方向性を出した上で、この建物をどうしていかなければいけないという議論を、市からより詳細な資料を出してもらって決めていくということが大事なのかなという気がして、皆さんの意見を頂戴した。</p>
議長	<p>部会を進めていく立場だが、最初に考えていたよりも大変難しい話になってきたと考えている。今まで色々な会議に出させてもらったが、地元の方が入る会議というのは今回が初めてである。この部会の話が来たときは、もんぜんぷら座自体をどうするかと思っていたが、長野市の全体像の中でという話も出てきたので、これをどうまとめていこうか難しいと考えている。</p> <p>ただ、せっかくこのような場にいるので、後で後悔しないように議論をして、必要であればもう一度長野市全体の議論の中に組み込むなり、建物が平成32年までであるとすれば、それまで議論を深めるなりすることも一つだと思し、次回は本日の意見を踏まえて一市民としてご意見をもらえればと思う。</p> <p>今日は話が少し散逸した気もするので、次回は皆さんの話を聞きながら先行きを決めていきたいと思う。是非皆さんにご出席いただいて、しっかりとした議論ができればと思っている。</p>

5 その他

発言者	発言内容
事務局	<p>本日は新田町交差点の位置付け等もあって厚い資料を配らせてもらった。もう少し分かりやすいものにして出していきたいと思うが、様々な考え方があの中で皆さんにご意見をもらうというのが大前提だと思っている。</p> <p>将来的な議論の中ではまだ市民アンケートだけで、上位計画等についても分かりづらい部分もあるので整理させてもらい、テナントヒアリングないし利用者アンケート等も取り、次回には一通り揃えて出したいと考えている。</p> <p>民間活力の導入については、以前のもんぜんぷら座在り方検討のパターンの中に来年度以降と書いている。再整備後の管理・運営の主体や規模も決まっていなくて、まだ具体的に方向性が見えていない中でPFIやPPPを議論するのは難しいので、今回はそういう部分を除いた資料になっている。当然、将来的には民間活力導入の調査等、必要なものについてはやっていきたいと考えているので理解願いたい。</p>

6 連絡事項（説明者：事務局）

- ・ 本日の会議も議事録を作成し、資料と共にHPで公表する
- ・ 前回までの資料と議事録は既に市街地整備課のHPに掲載してあるので確認願いたい
- ・ 第4回検討部会は、1月31日(水)午後1時30分から 今回と同じもんぜんぷら座会議室304で開催の予定、資料が整い次第正式に通知する

7 閉会